

第2回横浜市戸塚区指定管理者選定委員会 会議録

- (1) 日 時 平成18年3月6日(月) 9:30～11:15
(2) 場 所 戸塚地区センター 会議室A
(3) 出席者 池田委員 石井委員 川俣委員 高野委員 宗像委員 比江島委員
(4) 傍聴者 有(6人) ※応募団体のプレゼンテーションとヒヤリング

<議事内容>

1	<p>議題(概要)</p> <p>(1) 応募団体のプレゼンテーション (2) 応募団体へのヒヤリング (3) 定足数再確認 委員会6名中、6名の委員が出席、委員会は成立 (4) 指定管理者の選定 事務局から指定管理者応募団体評点の集計結果を説明、指定管理者の選定について審議した。</p>
2	<p>(1) ヒヤリングでの主な質問</p> <ul style="list-style-type: none">・防音室の利用についてはどのように考えているか。・管理経費の節減についてはどのように考えているか。・施設の地域以外からの利用者の受け入れについてはどのように対応するのか。・施設の防犯対策についてどのように考えているか。・生涯学習分野での自主事業についてはどのように考えているのか。・団塊世代の活かし方について考えはあるか。・学校型のコミュニティハウスとの違いはあるか、単独の施設としての考え方はどのようなものか。 <p>(2) 選定にあたっての委員意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・評点の集計結果では、第1位は社会福祉法人開く会、第2位は戸塚区区民利用施設協会となるが、管理経費の項目で差があらわれている。・施設協会は、これまでの実績や他の施設の調査なども行って管理経費を考えており、施設の運営を考えた数字と思われる。・施設の安全な運営ということなら施設協会ということになり、安全性の点数にもあらわれている。施設としてどこを重点としていくかという考え方、もうひとつに総合的にも考えていく必要がある。・開く会は、地域のケアプラザでの実績などで地域の人やボランティアの協力も得た運営を考えている。コーディネートという言葉が多く使われているが、地域の人にも地域の福祉施設との連携という期待もあるのではないか。・開く会は、施設の管理についても、同じ地域で施設を管理運営しているというスケールメリットも活かしていくことがあるのではないか。・開く会は、地域のニーズを意識した提案もなされ施設や地域への理解もある。総合的には評点の集計どおりの結果を基本に考えていくことでよいのではないか。
3	<p>審議結果</p> <ul style="list-style-type: none">・指定管理者応募団体評点の集計結果を基本に、第1位の優先交渉権者は社会福祉法人開く会、第2位として戸塚区区民利用施設協会を選定した。

選定基準

<評価項目>

1 地域コミュニティの醸成や地域連帯意識の形成に寄与する等、コミュニティハウスの設置理念に基づく運営が図られること。(80点)

◎ 基本理念の理解

- 1-1 基本理念の理解
- 1-2 地域に対する理解

◎ 地域に対する理解

- 1-3 施設の連携に対する理解
- 1-4 サービス提供に対する理解

◎ 施設の連携に対する理解

- 1-5 区内の他施設との連携、効果的な運営と事業展開

◎ サービス提供に対する理解

- 1-6 利用者に対して公平なサービス提供が可能な運営

2 地域ニーズに合わせた事業が実施できること。(45点)

- 2-1 利用者ニーズの把握及びニーズを反映した自主事業計画か。
- 2-2 バリエティーに富んだ自主事業計画か。
- 2-3 世代間・地域交流が図れる自主事業計画か。

3 施設の管理経費の縮減が図られるものであること。(45点)

- 3-1 効率的な運営が工夫されている。
- 3-2 管理運営経費が適正で低廉。

4 指定期間中、安定した管理運営を行うことのできる実績及び能力を有していると認められること。(50点)

◎ 安定性(管理運営の体制及び実績が十分か)

- 4-1 業務の活動体制が整っているか。
- 4-2 市民利用施設等の管理及び運営の実績があるか

◎ 健全性(個人情報保護、職員研修)

- 4-3 個人情報の保護体制が整っているか。
- 4-4 職員の資質向上のための研修が計画されているか

◎ 安全性(危機管理対策)

- 4-5 防犯、防災、その他の事故発生等の危機管理のあり方を理解しているか。

以上の評価項目に沿って、指定管理者選定委員会にて審議・評価。